

第66号

平成29年4月12日



		J
	◆第7期新総代選出 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
无	◆ 第7期新役員選出 ····································	5
	◆平成28年度通常総代会開催/平成29年度事業計画 6・	7
#.	◆平成29年度予算/定款・規約等の一部変更改正 8・	9
	◆表彰/シリーズ「農家の声」 10・	11
7	◆シリーズ「維持管理組合紹介」/	
.0	維持管理組合長・維持管理組合担当職員紹介	12
口	◆平成29年度用水計画/休日勤務体制/	
1 3	プレミアムフライデー実施	13
忍	◆平成29年度事務局機構	14
	◆伝言板	15
	◆シリーズ「管内スポット」/編集後記 ·······	16

地区の概要

地区面積/8,908ha 組合員/6,112名

〒992-0012 米沢市金池五丁目9番5号 ☎0238(23)0015

URL: http://www.yonezawa-heiya.or.jp

E-mail: yonehei@sanae.or.jp



ご 挨 拶

事長

佐

貝

全

健

平成二十九年度の初めにあたり、一言ご挨拶を申しあげます。

このたびの任期満了による役員選挙の結果、 私を始め十八名が米沢平野土地改良区第七期役員として選

出され、三月三十一日に就任いたしました。

今後四年間、 六十五名の総代と共に、 組合員及び土地改良区発展のため努めてまいりますので、 よろし

くお願い申しあげます。

昨年度も順調に事業推進に努めることができましたこと心より感謝申しあげます。 の維持管理に努めてまいりました。 本土地改良区は、 国営米沢平野農業水利事業、並びに県営、 関係機関のご指導と組合員皆様のご協力により、 団体営の各種事業を実施し、 お陰をもちまして、 土地改良施設

化 さて、 米価の下落など、 今般の農業・ 農村は、 農家にとって年々深刻な事態となっております。 国内外の政治・経済の動向、 地域における人口の減少、 農業従事者の

TPPにおいては、 アメリカの離脱後、 残り十一カ国による初めての閣僚会合が開催されており、

の動向を注視してまいります。

改正案につきましては、 借り入れた農地の整備を、 施設の維持管理としましては、 そのような状況の中、二月末に閣議決定された土地改良法「改正案」の中で、「農地中間管理機構」 土地改良区としても十分理解を深めていかなければならないと考えております。 農業者の負担と同意なしで実施できる旨の項目が盛り込まれております。この 国営二期事業により造成、 構築された小水力発電施設及び集中管理シス が

について鋭意進めてまいります。

テムにより、 維持管理費の負担軽減並びに用水の安定供給に努めてまいります。

た、 地区」を取り組んでまいります。 業による「屋代郷一 平成二十一年度と同額計上される中、 玉 調査事業としまして、 0 平成二十九年度農業農村整備事業関係予算概算額が、 地区」 の水路整備と、 施設の長寿命化を図る基幹水利施設保全型により、 本土地改良区の新規事業としましては、 農村地域防災減災事業による「間坂地区」 前年度補正と併せて大幅削減され 農業競争力強化基盤整備 「米沢一 のため池整備を、 地区」及び た以 両 前 堰 ま 0

水利区域内事業の「山上地区」、施設保全を行う「屋代郷・淞郷堰 四ッ釜地区」、並びに河川工作物応急対策事業の「米沢平野地区 継続の県営事業につきましては、 ほ場整備事業の「高山 地区」、「塩井地区」、 地区」、 ため池整備事業の 施設整備 0) 「黒井堰 蛭沢地区 地区」、

がら計画的な更新・整備を推進してまいります。きないものであります。国を始め関係機関のご理解をいただきな用水を供給する、農業水利施設は、農業生産に欠かすことがで

向上と未収対策に取り組んでまいります。
理化に努め、経常的経費の節減と効率化を図り、賦課金の収納率管理体制整備促進事業などにより万全を期すとともに、事務の合いめとする施設の維持管理について、県営基幹水利施設管理事業、また、用水の安定確保と供給のため、水源となる水窪ダムをはまた、用水の安定確保と供給のため、水源となる水窪ダムをは

係機関のご指導とご理解をお願い申しあげます。一丸となって努めてまいりますので、組合員の皆様をはじめ、関結びになりますが、健全な運営による事業推進のため、役職員



第7期役員 当選証書付与式(新役員代表あいさつ 佐貝理事長)

第7期 新総代65名選出

任期満了に伴う総代選挙が2月21日に執行され、全選挙区無投票により65名の当選が決定しました。 新総代の今後のご活躍をご期待申しあげるとともに、前任者各位のご尽力に対し厚くお礼申しあげます。

任期は平成29年3月2日から平成33年3月1日までの4年間



平成29年2月14日以~15日以 一立候補届出一 会場:米沢平野土地改良区 会議室



平成29年2月22日(x) 一選挙会一

選挙区 地区名



平成29年2月22日(水) 一当選証書付与式一

会場: 山形県置賜総合支庁 501及び504会議室

氏名

会場:山形県置賜総合支庁 講堂

新総代のご紹介 ※敬称略

選挙区	地区名		氏名		再/新
	万	世	大野潭	異 進	再
	梓	JII -	髙橋派	京五郎	再
第1区 (定数5名)	1 		鈴木	孝一	新
	羽黒	111	須藤	真則	新
	20 羔	711	安部	憲一	新
	 片子大	堰	竹田	誠司	新
	ילנות		豊野	隆一	新
第2区	山	上	古澤	虎夫	再
(定数6名)	Э		我彦	正福	再
	米沢南部	情野	利晴	再	
	小八円印		本田	康弘	新
	塩	井	宍戸	剛	新
	垣	7	小関	敏弘	再
	窪 田		髙橋	正德	再
第3区 (定数7名)			佐藤	俊英	再
		田	佐藤	正一	再
			木村	正勝	再
			齋藤	善博	新
	和田		佐藤	浩	新
第4区		鈴木	芳美	新	
(定数4名)		髙橋	藤吉	新	
			猪野	誠	新

~		20 LI	1 7/ 4/1
	四ケ村堰	鈴木 幸治	新
		木村 武義	再
第5区 (定数5名)		髙橋 一芳	再
		渡部 仁	新
		髙橋 幸博	新
		五十嵐克己	再
第6区	黒井堰	伊藤作工門	再
(定数4名)	杰 开 堰	鈴木 陽一	新
		佐藤 利宏	再
	糠野目	金子 卯一	新
		佐藤 一雄	再
		渡部 修一	新
		八巻 善朗	新
第7区		齋藤 光春	再
(定数10名)	屋代郷	竹田 昭二	新
		竹田 良一	新
		佐藤 寛幸	新
		佐藤 和彦	新
		山崎 秀一	新
		鈴木 重司	新
第8区 (定数7名)	淞 郷 堰	髙橋 幹雄	再
		濱田 重幸	新

選挙区	地区名	氏名	再/新
	淞 郷 堰	佐藤嘉一	新
第8区		伊藤安五郎	新
(定数7名)		朝倉善則	再
		鈴木 孝一	新
		佐藤 嘉隆	再
		髙橋 嘉門	新
		波方 良弘	再
		森谷 武弘	再
		佐久間二郎	再
第9区 (定数11名)	面 堰	伊藤 藤夫	再
		情野 市孫	再
		藤巻 陽一	新
		遠藤 義則	新
		佐藤 好	新
		井上 正順	新
		渡部 與彰	再
	川西東部	内山雄次郎	新
第10区		佐藤 和弘	再
(定数6名)		髙橋 顕仁	再
		小形 義美	再
		遠藤 森幸	再
仁	計	65名	

第7期 新役員18名選出

~ 新 執 行 体 制 ~

任期満了に伴う役員選挙が3月15日開催の平成28年度通常総代会において執行され、理事15名、監事3名の当選が決定しました。その後、互選会において新役員の職務分担が確定しました。

任期は平成29年3月31日から平成33年3月30日までの4年間



理 **戸田 忠雄** (水利整備)



理 事 寒河江利廣 ^(総務)



会計担当理事 江口 益美 (総務)



庶務担当理事 我妻 武宣 (水利整備)



副理事長 長谷部福太郎 ^(総務)



理 事 長 佐**貝 全健**



理 事 二**宮 啓一** (水利整備)



理 事 内藤 和典 ^(総務)



理 事 鈴木 義郎 (水利整備)



理事中川誠一郎



理 事 **大友 学** (水利整備)



理 事 **島軒 隆一** (水利整備)



監 事 黒澤 章



監事我妻 孝一



総括監事 寒河江繁-



理 事 山田 文則 (総務)



木村 明男 (水利整備)



理 **山木 義厚** (総務)

※下段は担当する委員会、未収対策委員会は理事全員をもって構成

監 総括監事 理 理 理 理 理 理 野 事 長 事 事 事 事 事 事 山 浅 青 伊 奫 黒 鈴 安 近 遠 安 木 深 部 野 部 藤 藤 野 田 藤 木 博 輝 邦 富 眞 講 愼 吉 清 正 宏 明 雄 彥 雄 誠 幸 郎 市 吉

平成二十九年三月三十日の 任期満了に伴い十一名の方が 退任されました。本土地改良 区の運営と発展にご尽力いた だきましたことに、心より感 がきましたことに、心より感 がきましたことに、心より感 がきましたことに、心より感

平成 28年度

通常繼代会即個

全議案原案通り可決

3月15日グランドホクヨウにおいて平成28年度通常総代会が開催されました。

総代(現総数65名)62名の出席を得、佐貝理事長挨拶、来賓祝辞の後、議長に第9選挙区の佐藤嘉隆総代が選任され、慎重審議の結果、全議案原案どおり可決されました。



り、東北農政局と山形県との 山形県企業局との共同施設 山形県企業局との共同施設 山形県企業局との共同施設 大基幹水利施設管理事業によ で基幹水利施設管理事業によ

事業計画の平成二十九年度

議長を務める佐藤嘉隆総代

(2) 県営基幹水利施設管理事業ける円滑な対応を行う。

事業費 六一、三六〇千円

ダム災害対策現地本部設置基

準を設け災害等の緊急時に於

改良区の関係者による共同施山形県企業局、米沢平野土地

なお、

東北農政局、山

設管理委員会において、水窪

(3)国営造成施設管理体制整備

促進事業(管理体制整備型)

(4)維持管理適正化事業

事業費

六八、六〇〇千円

事業費



質問する木村正勝総代

 ②支線施設
 一施設

 ①幹線施設
 一施設

 ・吉島二号用水路

(5)維持管理組合との連携強化を図り、かんがい期の用水確保と計画的かつ効率的配水に万全を期す。 用による用水確保を図る。 用による用水確保を図る。 用による用水確保を図る。

でいく。

黒井堰地区(南陽市、高畠町)

県営事業

続

〇経営体育成基盤整備事業 高山地区(川西町) (面的集積型)

事業費 二一五、〇〇〇千四

- 山上地区(米沢市) 農業競争力強化基盤整備事業 域内農地集積促進型 (水利施設整備事業水利区
- 農業競争力強化基盤整備事業 利施設整備型 (水利施設整備事業基幹水 事業費 一六一、〇〇〇千四
- ○農業競争力強化基盤整備事業 利施設保全型) 、水利施設整備事業基幹水 事業費 九三、〇〇〇千円
- 屋代郷·淞郷堰一地区(南陽市 事業費 五五、〇〇〇千円
- 農業競争力強化基盤整備事業 (農地整備事業経営体育成
- 塩井地区(米沢市
- 農村地域防災減災事業(た 事業費 二一九、〇〇〇千円
- 蛭沢地区(南陽市、 め池整備事業 高畠町)
- 事業費 100、000千円

- ○農村地域防災減災事業(た め池整備事業
- 四ッ釜地区(川西町) 事業費 七〇、〇〇〇千円
- 業用河川工作物応急対策事

米沢平野地区

(米沢市、 事業費 一二、〇〇〇千円 高畠町、 川西町)

○農業競争力強化基盤整備事業 利施設保全型 (水利施設整備事業基幹水

- 事業費 二二、〇〇〇千円
- 間坂地区(米沢市、川西町) 事業費 四二、 000千円

継続

- ○農地耕作条件改善事業
- 米沢平野五地区

事業費

規

○農業水利施設保全合理化事業

(3)計画調査事業

○農業競争力強化基盤整備事業 (農地整備事業経営体育成

- 農村地域防災減災事業(農

新 規

屋代郷一地区(高畠町)

農村地域防災減災事業(た め池整備事業)

(2)団体営事業

四八、〇〇〇千円

(1)各活動組織へ指導助言を

行っていく。

米沢平野地区 (水利用調整事業) 事業費 九、〇〇〇千円

|耕作放棄地対策として、二

員として参画し、解消に努 市二町の地域協議会の構成

①農業農村整備事業実施計画 型)(計画設計

- 亀岡西地区 策定事業(県営
- ②農山漁村活性化プロジェク ト支援事業(団体営) 調査費 一六、九〇〇千円
- 亀岡西地区

五〇〇千円

農業競争力強化基盤整備事業 利施設保全型)(計画設計事 (水利施設整備事業基幹水

農業競争力強化基盤整備事業 利施設保全型)(計画設計事 、水利施設整備事業基幹水 調査費 四、 000千円

両堰地区

米沢一地区

調査費 四、〇〇〇千円

介を行っていく。

造運動の継続と趣旨普及二十一世紀土地改良区創

地中間管理機構から必要な

くする事業実施に関し、農

(1)広報の発行、配布並びに愛 の普及を行う。 称「水土里ネット米沢平野

これに応ずるように努める。

協力を求められた場合は、

(3)住民参加型活動(施設めぐ (2)ホームページによる情報発 (4)土地改良区及び土地改良施 設の果たしてきた役割の紹 りなど)を実施していく。 信を継続していく。

「人・農地プラン」及び

付金等 多面的機能支払交

(1)人・農地プラン としても市町が開催する農 あることから、土地改良区 を一体的に解決する必要が 基本となる人と農地の問題 強い農業を実現するために している中、持続可能な力 農業が厳しい状況に直面

事業負担金対策

表で構成する「地域農業再 業関係機関や、農業者の代

兀

(1)担い手育成支援事業(継続

(2)経営安定対策基盤整備緊急 支援事業(継続 ·糠野目地区

(2)農地中間管理事業

メンバーとして参加する。 の妥当性等の審査、検討に 生協議会」が提案する原案

受け皿があることで、人・

信頼できる農地の中間的

農地問題の解決を進めやす

糠野目地域

七 財政・運営

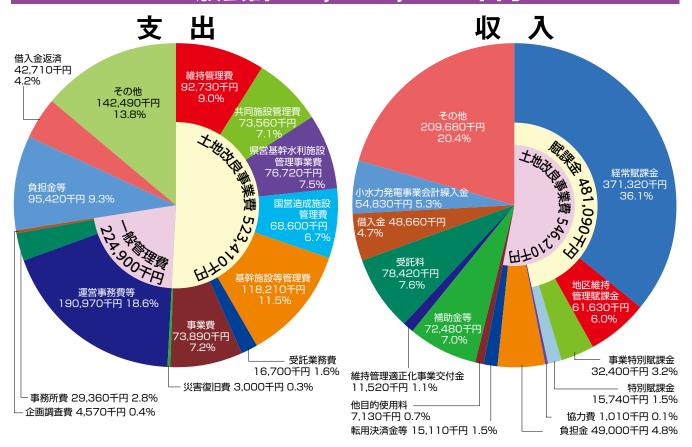
の節減を図っていく。 進めるとともに、経常的経費 度から平成三十二年度)に基 ついては、第三次運営ビジョ にある中で、事務の合理化を 修費に係る経費が微増の傾向 朽化により施設管理費及び補 づき予算を編成し、施設の老 ン(財政計画:平成二十八年 本土地改良区の財政運営に

収対策に努力していく。 前年度と同額の十アール当た 完納を目標に収納率向上と未 源の確保を図りつつ賦課金の り四、四〇〇円とし、所要財 は、運営ビジョンに基づいて 平成二十九年度経常賦課金

平成29年度 予 算

単式簿記会計から複式簿記会計へ移行します 単式20会計 → 複式2会計へ

一般会計 1.028,930千円



一般会計予算内訳書

(単位:千円)

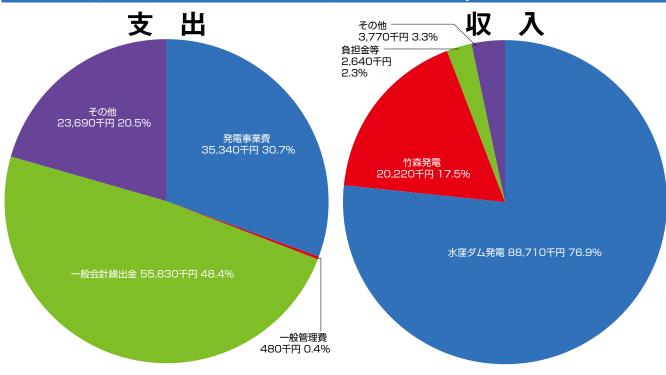
		(羊瓜・113)
会 計 区 分	収入	支出
一般(旧一般会計)	757,400	639,660
水窪ダム等共同施設維持管理費	31,160	80,680
県営基幹水利施設管理事業(米沢平野1)	47,450	55,170
県営基幹水利施設管理事業(米沢平野2)	8,270	10,020
県営基幹水利施設管理事業(米沢平野3)	20,380	25,790
国営造成施設管理体制整備促進事業(管理体制整備型)	32,090	69,650
県 営 経 営 体 育 成 事 業 高 山 地 区	37,500	35,300
県営水利施設整備事業山上地区	27,800	26,190
県営農業競争力強化基盤整備事業塩井地区	28,000	26,960
農業基盤整備促進事業	28,680	49,800
県営農業競争力強化基盤整備事業亀岡西地区	10,200	9,710
計	1,028,930	1,028,930

[※]平成28年度特別会計「基幹水利施設更新準備積立会計」、「上新田地区県営経営体育成基盤整備事業(面的集積型)会計」、「県営水利区域内農地集積促進整備事業会計」の3会計については平成28年度で廃止となります。

複式簿記会計への移行に伴い、特別会計小水力発電事業以外の特別会計を全て廃止し、積立金でない特別会計の残金は一般会計へ繰入れ、積立金会計の残高は固定資産として計上することになります。 このため、一般会計予算は1,028,930千円と前年度より大幅増となりますが、内訳書の旧一般会計区分(収入757,400千円、支出639,660千円)が前年度一般会計予算に当たる部分になります。

平成29年度

計小水力発電



特定個人情報保護に関する規程(制定)

諸規程の制定及び一部改正

行政手続きにおける特定の個人を

特定個

及び選挙区) 第三条(地区)、

台帳整理による区域(林泉寺二丁 目外)の追加

第二十三条(役員の失職

等により被選挙権を失った場合 行政庁の指導等により、 なることができる事項の追加 残任期間は、組合員でない役員と 金及び農地中間管理機構への貸付 農業者年

同条同項に係る別冊調書(一)(経費 第二十四条第一項及び同条第五項

農地転用及び台帳整理による区域

第二十五条第一項及び同条第二項

国営米沢平野二期農業水利事業完 了による変更

定款附属書役員選挙規程 第二条第二項

台帳整理による区域(林泉寺二下 目外)の追加

規約の 一部改正

第二十七条

第六十二条(補償)

事業施行委員会規程の改正により

価委員会を評価換地委員会に改正

第四十五条(出納の閉鎖) 行政庁の指導等により会計事務補 三十一日を出納の閉鎖に改正 複式簿記会計移行により翌年三月 助者の追加

定款の変更

第八条(総代の定数

分担の基準)

の追加及び削除

(負担金及び分担金)

定款・規約の 部変更改正

総務委員会規程(一 になるため 識別するための番号の利用等に関 人情報等の適正な取り扱いが必要 する法律等の施行により、

第三条(委員)

改正(八名→七名) 理事定数変更により構成委員数 0

水利整備委員会規程(一部改正)

第三条(委員)

理事定数変更により構成委員数 改正(八名→七名) 0

第三条(委員) 禾収対策委員会規程(一部改正)

改正(十六名→十四名 理事定数変更により構成委員数

会計細則(全部改正)

・複式簿記会計移行による全部改正 **M付推進委員手当基準要綱(一部改正)**

第二条

改正 手当額を固定給及び組合員数割に

第六条(使用期間) 十一人槽以上の浄化槽排水許可期

他目的使用規程(一

第二条(使用料の額) 使用料規程(一部改正) 限の改正(五年以内→永年(工作物 十一人槽以上の浄化槽排水使用料 の存置する期間))

9

~表彰状・感謝状贈呈~

3月15日欧開催の平成28年度通常総代会において、米沢平野土地改良区の運営と発展並びに土地改良事業推進に貢献された功績に対し、次の方々に表彰状または感謝状が贈呈されました。

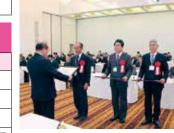
表彰状 ~後	員及	び総代	7	王任 1 2	2年以上~
役 職 名	氏	名		通算年数	経 歴
副理事長	鈴っ	吉	宏	17	役員17年
会計担当理事	安音	ß 愼-	-郎	16	役員12年、組合長4年
理事	伊菔	新	彥	24	役員14年、総代10年
理事	齋菔	富	雄	16	役員8年、総代8年
理 事	安音	阝 輝	雄	12	役員12年
理 事	遠が	議	吉	12	役員4年、総代8年
理事	黒田	員	幸	12	役員4年、総代8年
前総代	髙栺	善豊	治	16	総代16年
前総代	古山	」 好	樹	12	総代12年
前総代(組合長兼務)	八き	\$	隆	24	総代24年、組合長4年
組合長(元総代)	江 音	ß	昇	16	総代16年、組合長8年
前総代(組合長兼務)	樋口	1 裕	_	16	総代16年、組合長4年
前総代(組合長兼務)	落合堂	堂 良	雄	16	総代16年、組合長17年
前総代(組合長兼務)	長谷川	博	史	16	総代16年、組合長12年
前総代(組合長兼務)	鈴っ	・基語	郎	12	総代12年、組合長4年



表彰状贈呈



表彰状贈呈



感謝状贈呈

~役員及び維持管理組合長 在任8年以上~ 通算年数 名 名 経 歴 氏 誠 理 近 野 役員4年、組合長4年 8 明 役員8年 理 事 野 8 青 正 総括監事 浅 深 清 8 役員8年 木 博 8 役員4年、総代4年、組合長4年

このたびの総代及び役員改選により、総代44名、役員11名の方々が退任されました。 本土地改良区の発展にご尽力いただきましたことに感謝申しあげるとともに、ますますのご発展 とご健勝を心よりお祈り申しあげます。

おめでとう ございます



土地連支部功労者表彰 こ月二十三日休長井市「グランパリス」におい 会置賜支部通常総会が開催され、長年に亘り土地 会置賜支部通常総会が開催され、長年に亘り土地 と良事業の発展に尽力された功績に対し、当土地 は良事業の発展に尽力された功績に対し、当土地 として、平成二十八年度山形県土地改良事業団体連合

玉

十八年度農業農村整備優良地区コンクールが開催され、農業生産基盤整備部門で |株式会社ファームおそのづか」が全国水土里ネット会長賞を受賞しました。 三月二十四日俭、東京都千代田区「シェーンバッハ・サボー」において、平成

を積極的に推進している地区を表彰するものです。 この賞は、農業生産基盤整備等を契機に生産性や収益性の高い農業経営の展開

かけに、平成二十一年に設立に至りました。 小其塚地区経営体育成基盤整備事業」を契機とした集落営農への取り組みをきっ **「株式会社ファームおそのづか」は、** 平成十四年度から平成十九年度に実施した

そのづか米」の栽培・販売や、 みや積極的な販路の拡大などが評価されました。 酒米を提供するなどして、地域の活性化や、地産地消にも貢献しています。さら 元スーパーや病院、 農業を実現しています。経営面積は、四十五、三へクタール。そのほか高性能防 除機械を導入し、近隣集落一五五ヘクタールの防除を受託しています。また、 1米と啓翁桜のインターネット直接販売を実施するなど、 設立当時は水稲と大豆の基幹作業受託が主でしたが、現在では、 温泉旅館などに「つや姫」を使っていただいたり、 冬期出荷の「啓翁桜」の栽培を導入するなどで四季 ブランド化への取り組 特別栽培米「お 地元酒蔵に



尽力されたとして、 地下水利用対策協議会設立四十周年 役員及び会員として協議会の発展に トビュー米沢」において、米沢地区 感謝状が贈呈されました。 記念式典が開催され、長年にわたり おめでとうございます。 安部輝雄理事に



十一月二日が米沢市「ホテルモン





塩井地区 区画整理 A=51.9ha 用水路工 L=10.0km 排水路工

L=5.3km農道工 L=4.4km地下かんがい A=25.1ha 期 平成26年度~ 平成30年度

します。 沢市塩井町宮井の相田市三郎さんを紹介 シリーズ「農家の声」第十三回目は、 米

地区農業競争力強化基盤整備事業(農地 整備事業経営体育成型)の施行委員長と して活躍されています。 相田さんは、平成二十四年度から塩井

現在の経営規模について

ら面積を徐々に増やし、現在では十二名から ルです。以前は兼業農家で、平成十八年頃か 田を借りて耕作しています。 水稲四、五ヘクタール、大豆二、五ヘクター

事業推進にあたり大変だったことは

が、負担額の面から八割の人が反対していま 以前からほ場整備事業の話は出ていました

事業内容を理解いただき、同意いただいたこ 問をするなどして大変でしたが、最終的には 関係者からの同意をとりまとめることが大変 でした。最初反対していた方も何回も個別訪 けスタートを切りましたが、受益地の確定や 成十九年に事業説明会を行い、事業採択に向 とは本当に嬉しく思っています。 その後ほ場整備事業への機運が高まり、平

事業の効果について

狭く農地集積も全く進んでいない状態でした。 維持管理に多大な労力を要していて、農道も 平成二十七年から面工事に入り、二十八年 当地区は未整備でほぼ素掘り水路であり、

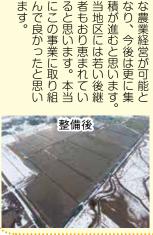
> も好評です。 田の管理がしやすくなり、耕作者からはとて ました。当地区では地下排水を採用し、危険 地下排水となった上部には農道が造られ、水 までに二十ヘクタールのほ場が生まれ変わり な排水路の草刈をする必要がなくなりました。

思わなかった。何回も説明してもらって事業 反響も大きく、まとめ上げた苦労が報われた 言っていただいたことや、地区外の人からの と感じています。 に参加することができ、本当に良かった」と は、「事業に取り組んでこんなに良くなるとは

塩井地区の展望について

経営体(担い手)八人 及び一法人に六、九 います。 標に集積を計画して 面積から、三十八、 ハヘクタールの耕作 二四ヘクタールを目 当地区では、高度







また、当初事業に積極的でなかった人から

います。



管理組合役員と山上

付金事業」では維持 多面的機能支払交

また、国が進める

地区の各自治会等と

が協力して、

平成二

·七年に「山上地域

維持管理組合紹介

を担っています。 管理において最も重要な役割 が、支線部分までの適正な水 区では、十六の維持管理組合 組合を紹介します。 土地改良

11九回目は、 シリー ズ「維持管理組合紹 山上維持管理

より取水する岩堰を用水にして より取水する桂堰と、松川上流 広がる中山間地域です。 山上地区は、水窪ダムの麓に 羽黒川

掘水路等約十四、 より「県営水利施設整備事業」に取り組み、素 排水路は柵渠のため浸食や崩壊で土砂が堆積 三年に完成しました。しかし、用水路は素掘 整備事業は昭和四十五年から始まった水窪ダ)維持管理に苦慮しています。 平成二十五年 「実施、翌昭和四十九年に着工し、昭和五十 建設工事と平行して昭和四十八年に調査計 和四 十年に山上土地改良区が設立、 二キロメートルをコンク 事を行っています。 リート水路にする工 ほ場

ぐため、

び役員が一丸となり、農地を若い世代に引継

維持管理に努めていきたいと思って 組合長

我彦正福

み農家人口が減少しておりますが、

組合員及

田植えを体験



の違いを体験してもらっています。 よる脱穀、籾摺り、精米と、昔と今の米づくり ンバインでの稲刈り体験、そして自然乾燥し です。米づくり体験では、春の種まきから苗 た稲を千歯扱き、足踏脱穀機、 の植栽、関根小学校児童との米づくり体験等 資源保全会」を設立しました 活動内容は、水路・農道の補修、 最後に、農業者の高齢化、農地の集積が進 田植え、草取り、稲刈り、杭掛け、 ハーベスタに 草刈、 コ

組合員数 148名 面 積 129ha 役員数 14名



>16維持管理組合の組合長を紹介します。

維持管理組合役員改選に伴い、各維持管理組合長が次のとおり決定しました。 また、維持管理組合担当職員は次のとおりですのでよろしくお願いします。

維持管理組合役員の任期は平成29年4月1日~平成33年3月31日までの4年間

維持管理組合名	組合長氏名	担当職員氏名
万世維持管理組合	大野澤 進	江口 誠
梓川維持管理組合	髙橋源五郎	小林 祐太
羽黒川維持管理組合	高橋 祐弘	井上 清隆
片子大堰維持管理組合	竹田 誠司	竹田 弘樹
山上維持管理組合	我彦 正福	竹田 弘樹
米沢南部維持管理組合	情野 利晴	江口 誠
塩井維持管理組合	小関 敏弘	井上 清隆
窪田維持管理組合	佐藤 正一	井上 清隆

維持管理組合名	組合長氏名	担当職員氏名
和田維持管理組合	鈴木 力	金子 良幸
四ヶ村堰維持管理組合	鈴木 幸治	小林 祐太
黒井堰維持管理組合	五十嵐克己	小林 祐太
糠野目維持管理組合	樋口 亨	皆川 浩利
屋代郷維持管理組合	我妻 隆	皆川 浩利
淞郷堰維持管理組合	高橋 善一	江口 誠
両堰維持管理組合	伊藤 藤夫	金子 良幸
川西東部維持管理組合	遠藤 森幸	竹田 弘樹

成 年 9 11/

普通期

います

出穂期 水として通水します 五月十六日より管理用 普通期最大の通水を行

かき用水の開始

四月下旬

耕耘状況を見ながら通水します 五月一日から五月十五日の間

その 他

員にお知らせします チラシ等の配布 放流調整等はチラシ等で組

全般を協議します 第一回 適期用排水調整及び施設の管理 維持管理委員会の

堰上げ 施設点検と通水時期

干ばつへ

、の対応

四月中旬より

国土交通省関連 試験通水…四ヶ村堰頭首工

試験運転…凇郷堰揚水機場

四月下旬

場合は、 況 や河

対応を検討します また、 ダムの放流は計画的に行います 異常気象によりダムの貯水状 三川の流況が大きく減少した 仮設及び臨時揚水機等の ムの放流調整を行いま ~米沢平野土地改良区ホームページ『用水状況』より"水窪ダムの用水状況"について紹介しております~

四月…年間計画等

正な水配分や維持管理を行うため に細部な検討を行います 各維持管理組合においても、 以降、必要に応じて開催します

適 います 維持補修 を行います 水路沿い

水路等の補 0) 草刈は、 修、 施設 年 三回

開閉操作等の点検を行います 取入口の土砂の除去やゲー の塗装等 トの 行

かんがい用水の終了 で終了となります 九月十

の皆様の更なるご理解とご協力

をお願いいたします

保守点検

水利施設全般にわたり機能発

保守管理

水利調整を行いますが、

組合員 適正な 水利権

に基づき計画的に適期・

かんがい期の通水は

Ė

かんがい期間(5月~9月)は 特に水路やため池の水量が増 え危険です。

水路では遊ばない 遊ばせない

子どもたちが水路やため池で 遊ばないよう、地域の皆さん のお声かけをお願いします。



開催

事前準備 揮に努めます

用水に関すること

◆中央管理所 TEL 0238-37-8011 24時間対応

日直者 午前8時30分~午後5時00分 午後5時00分~翌日午前8時30分 宿直者

※水窪ダム・鬼面川頭首工・淞郷堰揚水機場などの 主要施設は、中央管理所での集中管理となります **果金等に関すること**

◆土地改良区事務所 TEL 0238-23-0015

午前8時30分~午後5時00分 日直者

※ 日・祝は休み

当土地改良区は、国が推進する[プレミ 解し、試行的に取り組みます。

- ◆当土地改良区における取り組み◆

職員が仕事を効率的に進め、幸せや楽しさを感じられる体験の ための時間を創出し、新たな活動を通して人生を充実させること により、仕事と生活の調和の実現を目指します。

- 当日午後3時00分を退庁時間とする (1)
- 各課2名は午後5時00分まで通常業務を行う
- 実施日

平成29年度 毎月末の金曜日

物損事故は届け出を!!

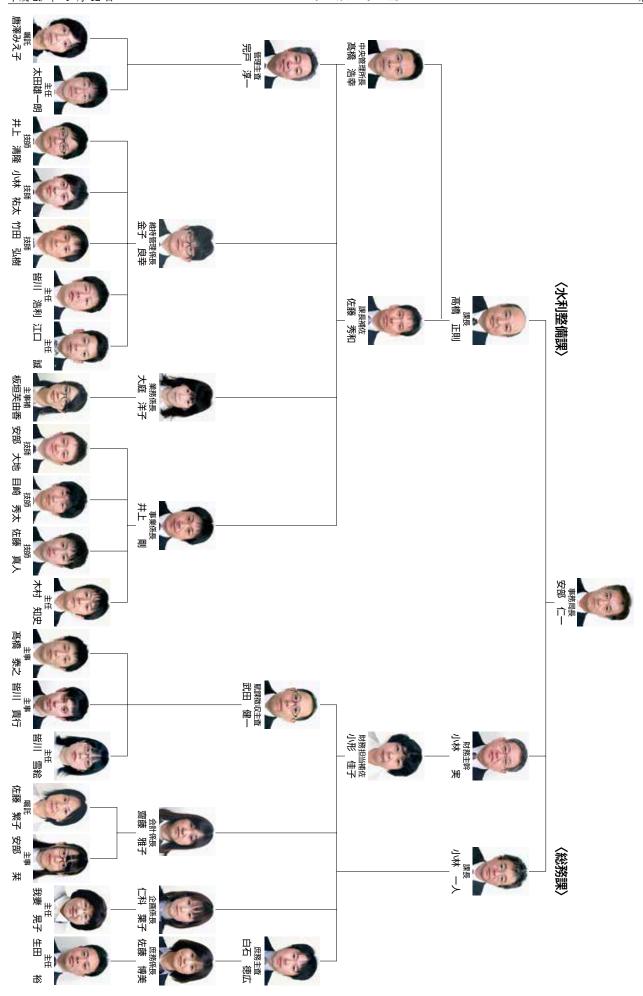
交通事故等により土地改良施設を破損さ せた場合、当事者の負担により復旧する ことになります。もし、交通事故等を起 こし、土地改良施設を破損した場合は、

土地改良区 までご連絡 くださるよ うお願いし ます。



平成29年度

事務局機構



4月1日付け人事異動により本年度は下記により業務を行いますのでお知らせいたします



◎平成29年度の賦課期日及び納入期限

期別賦課期日		納入期限	賦課基準日
第1期		平成29年7月31日	平成29年4月1日現在の土地原簿
第2期	平成29年7月10日	平成29年10月31日	記載面積により賦課します

賦課金は納入期限内にお願いします

土地改良区の賦課金は、施設の維持管理費や事業の償還金となる重要な運営費です。これを未納されますと運営に支障をきたし、組合員間に不公平等が生じることとなります。

滞納した賦課金は法に基づき差押を実施し、更に納入のない方は公売になる場合もありますので、 納入期限内の納入にご協力くださるようお願いします。

賦課金の納入は便利な口座振替をご利用ください

- ◎賦課金納入のために、土地改良区及び農協窓□へ行く手間が省けます。
- ○一度手続きしますと、納入忘れが防げます。(納入期限の前に残高確認をお願いします)

資格変更・農地転用・施設使用等の届出は組合員の方の義務です!

◇組合員資格に移動がある場合

公共機関(市町、農業委員会、法務局等)及び農協等の手続きだけでは、土地改良区の組合員名簿及び 土地台帳等は変更されません。移動がありましたら、速やかに届出ください。

- ○農地の移動(売買、賃貸借、交換等)
- ◎生前一括贈与または死亡等による名義変更
- ◎農業者年金受給等による経営移譲
- ◎住所、氏名、法人名等の変更

◇農地を転用する場合(公共用地に買収された時も届出が必要)

- ◎公共用地(道路、水路)への買収による転用
- ◎田の宅地等への転用(一部畑賦課地域も同様)

◇土地改良施設を利用する場合

- ◎雨水排水や合併浄化槽処理水の放流
- ◎土地改良施設用地を出入り口等他目的に使用

滞納賦課金は新資格者が負担

農地の移動(売買等)において、その土地に滞納賦課金がある場合、土地改良法の規定により、取得した新資格者に承継され、滞納賦課金を支払わなければなりませんのでご注意ください。

国営二期事業受益地の農振除外について

平成27年度の国営二期事業完了により、事業完了後8年(H28~H35)未経過の事業受益地については、「農業振興地域の整備に関する法律(農振法)」により、各市町の農業振興地域整備計画で定められている「農用地区域」からの除外(農振除外)は、特別なケースを除き、原則として認められません。

- ※特別なケースについては各市町にお問い合わせください
- ※各種ほ場整備事業等についても同様です



が生産量日本一と多くの果樹農 培が盛んで、特に「デラウエア」

ここ、米沢平野では果樹の栽

最近では前号でも紹介しました 家が生産に力を入れています。

「シャインマスカット」が「デラウ

▶発行日/平成二十九年四月十二日 ▶編集/米沢平野土地改良区 〒九九二─○○一二 米沢市金池五丁目九番五号 ☎○二三八一二三─○○一五

う付け作業を行殺菌と活着のな

ため

待ちます

た苗木をは 畑

箱に詰め温床で発芽

新時代を担う あなたに!!

跏

化し、 ご」「さくらんぼ」「洋なし」等の苗 力を入れいており、 なる「穂木」(木の枝)の生産にも います。「ぶどう」をはじめ「りん 産を始め、平成四年に法人組織 から入るそうです。 土台となる「台木」や苗木の基と 木を生産販売しており、苗木の から菊地さんの祖父が苗木の生 菊地園芸は、昭和二十八年頃 現在では役員四名、社員 期間雇用六名で経営して 注文は全国

ふどうの苗木ができるまで

苗木は、 まず土台となる台木

変です。 りする作業を、秋までに三回く を切ったり、脇芽を摘み一本ず らい行なわなければならなく大 つ支柱にテープナーで誘引した の苗木は成長が良く、まきひげ で成長させます。この間ぶどう ほどの苗木を畑に植え付け秋ま 春になると活着し発芽した七割 緒に詰め、温床に敷き詰めます。 ろう付けを行い、木箱に土と一 木します。接ぎ木したところに 作りたい品種の穂木を接ぎ

生産量が増えているそうです。 エア」の作業と重ならないため、

市萩生田の「有限会社菊地園芸」 種類を生産販売をしている南陽 今回は、果樹苗木を中心に数百

きしました。

菊地善由樹さんよりお話をお聞 をご紹介します。常務取締役の

を行い出荷の準備をします。冬 上旬頃に苗木を出荷します。 期間の接ぎ木作業期間を除く十 け、成長した苗木を手で落葉さ 月~十二月末と、三月~五月 十月下旬から十一月上旬にか 機械を使って掘り出す作業

とだそうです。植えたら違う苗 木だったということがないよう いように防除を念入りに行うこ ないこと、苗木に病気が付かな は、当然のことながら接ぎ木か 工夫をしているそうです。 に苗木に名前シールを貼るなど 出荷までを通して品種を混ぜ 苗木の生産で一番大変なこと

今後の目標など聞きました

出す品種がなく残念です。 良で「山形のぶどう」として売り 行っていますが、「ぶどう」は未改 んぼ」「西洋なし」の品種改良は 形県では、「りんご」「さくら

また、将来は自分で品種改良を います。 行い、新品種を作りたと考えて ど協力したいと思っています。 種ができるよう力を入れてほし 形県オリジナルの「ぶどう」の品 い。そのためなら苗木の提供な ぶどう作りが盛んな地域なの 米やさくらんぼのように山

に使用するぶどうの苗木が不足 最近はワインブームでワイン











編集にあたり、寄稿いただきま







げます。 の遭われた方々にお見舞い申しあ豪雪により、果樹、施設に被害 してお礼申しあげます。 ようやく春の日差しも強くなり、

解とご協力よろしくお願いします。 全うしてまいります。更なるご理 使命として本土地改良区の役割を る農作業です。 終わりに、今号に関するご意見・ 今年も用水の確保と安定供給を

編集委員 伊藤邦彦)

●印刷/株式会社 川島印刷

せください

お待ちしておりますので是非お寄ご感想、次号に向けての情報等を な稔りを思い描きながら!力の入種を蒔く季節となりました。 豊か この印刷物は大豆油にかわり米ぬか油を 使用したライスインキで印刷しています。

きれていないのが現状であり、 いますが、全ての要望には応え 社として成長していきたいです。 を目指し、 果樹農家から信用ある苗木会社 う頑張っていきたいです。また、 需要に合わせた供給ができるよ していて、 数年前から増産して 地域に貢献できる会







1